

みずほCustomer Desk Report 2017/01/17 号(As of 2017/01/16)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.33 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.23	1.0627	121.42	1.0101	1.2037	0.7498
SYD-NY High	114.80	1.0636	121.65	1.0134	1.2085	0.7509
SYD-NY Low	113.61	1.0580	120.77	1.0094	1.1983	0.7458
NY 5:00 PM	114.17	1.0606	121.06	1.0112	1.2043	0.7476
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.935/13.315		△25RR	0.883	Yen Call Over	
NY DOW	-	-	債券市場	日本2年債	-0.2220	-
NASDAQ	-	-		日本10年債	0.0530	0.3bp
S&P	-	-		米国2年債	-	-
日経平均	19,095.24	▲192.04		米国5年債	-	-
TOPIX	1,530.64	▲14.25		米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	*19,085	▲260.00		独10年債	0.3230	▲1.5bp
ロンドンFT	7,327.13	▲10.68		英10年債	1.3120	▲5.2bp
DAX	11,554.71	▲74.47		豪10年債	2.6970	0.6bp
ハンセン指数	22,718.15	▲219.23	為替市況	USD/CNH	6.8594	0.0164
上海総合	3,103.43	▲9.34		ドルインデックス	101.59	0.41
USDJPY 3M Vol	12.76	0.06%	商品市況	CRB指数	-	-
USDJPY 6M Vol	12.60	0.01%		NY金	*1,202.6	6.40
EURJPY 3M Vol	10.91	0.34%		WTI	*52.64	0.27
EURJPY 6M Vol	12.42	0.19%		Dubai Spot	53.06	▲0.87

*: 直近気配値 (Not official close)

東京	週明けのドル円相場は、ロンドン時間に高値114.80をつけたもののハードブレグジットへの警戒感から上値は重く、114円台前半から半ばで推移。東京時間オープン前に発表された本邦11月機械受注は前月比▲5.1%と2ヶ月ぶりに減少に転じ、予想(同▲1.7%)を下回った一方、前年比+10.4%と予想(同+8.1%)を上回る強弱混在の結果に相場への影響は限定的。斯かる中、ドル円は114.23レベルで東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させる中、ドル円の上値は重く114円台前半を中心としたレンジ推移。午前中、一旦は114.00を割り込む場面も見られたがすぐに反発して114円台を回復。午後に入っても114円台前半を中心とした値動きが続いていたものの、引けにかけては一段とドル売りが強まり、114.00を再び割り込んだ。結局ドル円は東京時間安値113.86をつけた後、113.93レベルにて海外に渡った。一方、週末に一部英紙が、17日のメイ英首相の演説で「単一市場へのアクセスを失っても、移民制限の主権を回復する」「世界各国と自由貿易ができるよう関税同盟を抜ける用意がある」と表明する方向であると報じたことを受け、ポンドは急落。先週末金曜日に1.21台後半でクロスしたポンドは、週明けロンドン時間1.20台後半までキャップダウンしてオープン。昨年10月以来の安値となる1.1983まで下落。1.20台を中心としたレンジ推移が継続し、結局1.2030レベルにて海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間ドル円は動意薄となった。アジア時間は英国がEUとの経済関係よりも移民制限を優先させるハードブレグジットへの懸念からリスケンシメントが後退して円買いが進み、ロンドン時間は113.93レベルでオープン。オープン直後こそ円買いが加速し、安値113.61をつけたものの、その後はボジション調整の円売りが優勢となり114.39まで反発。調整一巡後はNY休場のため様子見となり114.13レベルでクロスした。ポンドは買い戻された。1.2030レベルでオープン。朝方はアジア時間同様、17日のメイ英首相による演説はハードブレグジットの内容になるとの一部報道を受けたポンド売り優勢の展開となり、1.1987まで下落。しかし、アジア時間の安値更新とはならず買戻しが散見されたほか、メイ首相の報道官から英首相がハードブレグジットを表明するとの報道は憶測であるとの発言が報じられたことや、米国のトランプ次期大統領が英国と速やかに貿易協定をまとめる意欲を示したこと等によりポンドは1.2085まで買い戻された。結局、ポンドは1.2065レベルでクロスした。(ロンドン-ルグリー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 吉田(意)・坂本

[昨日の指標等]

Date	Time		Event		結果	予想
1月16日	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	11月	-5.1%/10.4%	-1.7%/8.1%
	19:00	欧	貿易収支(季調前/季調後)	11月	€24.3B/€22.7B	€25.9B/€20.8B
	-	米	NY休場	-	-	-

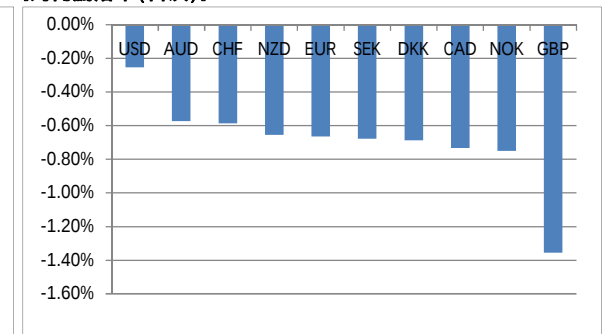
[本日の予定]

Date	Time		Event		予想	前回
1月17日	13:30	日	鉱工業生産・確報(前月比/前年比)	11月	-	1.5%/4.6%
	13:30	日	設備稼働率(前月比)	11月	-	1.4%
	18:30	英	CPI(前月比/前年比)	12月	0.3%/1.4%	0.2%/1.2%
	18:30	英	小売物価指数(前月比/前年比)	12月	0.4%/2.3%	0.3%/2.2%
	19:00	独	ZEW調査(期待/現状)	1月	18.4/65.0	13.8/63.5
	-	英	メイ首相 講演	-	-	-
	22:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	1月	8.5	9.0
	22:45	米	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.50	1.0570-1.0650	120.00-121.50

[マーケットインプレッション]

昨日の海外市場ドル円相場は、114円前半～半ばでもみ合いの展開となった。アジア時間は、朝方、英のEU離脱懸念からポンドが各通貨で下落。ポンド円の下落を受け、ドル円も上値が重く推移。また、日経平均が軟調展開となったこともあり114円台前半から113円台へ下落した。欧州時間に入っても、メイ英首相が17日の演説でEU離脱をめぐり「ハード・ブレグジット」の方針を表明するとの報道から113円台半ば～後半で上値重く推移した。米国時間は、値ごろ感から押し目買いの動きが見られ114円台前半を回復しもみ合いとなった。また、昨日は米国休日だった事も小動きの要因となった。本日は上記に記載した通り、メイ首相の演説を前に神経質な相場展開が続きそうだ。ドル円は軟調推移が続く中、本日も売り先行の地合いとなろう。